

台湾・花東線複線化 既設設備の改良事業を受注

日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：塚本英彦）は、台湾交通部鉄道局より「台湾・花東線の複線化に向けた既設設備の改良事業」を受注いたしました。

本案件は、台湾東部の輸送力増強を目的とした、花東線（花蓮～知本間）の単線区間を複線化する工事の一環です。

< 案件概要 >

1. 対象区間の距離：花東線（花蓮～知本間）約162.5kmのうち、複線化実施予定の約112.6km区間
2. 工事の概要：
 - ①複線化に向けた土木工事に伴う既設信号設備の移設
 - ②路線変更に対応したCTC（列車集中制御装置）の改修
3. 工事の期間：2023年8月～2028年（予定）

本案件の主要業務は、約101kmの広範囲にわたる信号設備の移設工事です。夜間の限られた時間帯で移設対象の設備を撤去し、移設先にて再度システムに接続、動作確認試験までをやり遂げる難易度の高い工事となります。当社は台湾において長年にわたり培った現地工事およびプロジェクト履行管理の経験・ノウハウを生かして、本工事も着実に実行いたします。

当社は本案件の完遂を通じて、台湾東部における鉄道輸送力の強化、通勤、商用、観光等における利便性向上に寄与するとともに、台湾の安全で快適なまちづくりに貢献してまいります。



花東線（花蓮～知本）路線イメージ

問い合わせ先

日本信号株式会社

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階

総務部 Tel 03-3217-7200 Fax 03-3217-7300 E-Mail info@signal.co.jp